

- 1 単元名 冬をたのしくパート1 ～みかんだいすき～
- 2 目標 ・身近なところで冬を見つけたり、みかんで遊んだりして冬を楽しむとともに、2年生を招待してみかんパーティーを行うことができる。
・みかんでいろいろな遊びができることに気付く。
- 3 指導にあたって 単元計画（総時数 15時間）

本単元の基礎・基本について



本単元では、冬の代表的な果物であるみかんと学習材として取り上げる。冬の代表的な果物といっても、今では夏でもハウスみかんがあり、みかんの持つ季節感は随分薄くなってきている。しかし、冬になると市場に出る量や種類は多くなり、子ども達がみかんに触れる機会も増えるであろう。子ども達にとっておなじみのみかんであるが、汁でのあぶり出しや、油をとばしての花火やみかん染めなど、みかんで遊ぶ体験はほとんどないと思われる。そこで、本単元の基礎基本を次の様に考えた。

- ・みかんに興味を持ち、遊びを楽しむこと
- ・遊びに必要な技能を身に付けること
- ・みかんパーティーを開いて2年生と関わること

1年生は、五感を通して体験することが大切であると考え、手で触ったり、においをかいだり、比べて味わったりすることで、今まで何気なく口にしていたみかんへの思いがふくらんでいくであろう。五感を通して得る体験を重ねることによって、豊かな感性が育つと考える。

また、単元後半には2年生を招いてのみかんパーティーを計画する。一緒に遠足につれていってもらったり、おもいほりをしてもらったりしてやさしくお世話してくれる2年生を自分たちが招待する初めての体験である。子ども達はグループで計画を立てたり準備したりして2年生に喜んでもらおうと張り切って活動するであろう。これらの活動を通して、自分たちで創りあげる満足感、相手が喜んでくれるうれしさを味わうことができると考えている。

本単元で得た体験は、自分の身近にあるものを見直し、生活を豊かにしていくきっかけになるであろうし、自分たちが学習の主体者であるという自覚を促しこれからの学校生活を豊かにしていくことにつながるであろう。

主な活動と内容	学びを広げ深めるために
1 冬の散歩をする ・雪吊りがあるよ 冬の準備だね ・年賀状を売ってるよ	①②
2 冬見つけをする こたつ みかん 息が白い 初霜	②
3 みかんで遊ぶ みかんで遊ぼう	①②③④
・みかんのひみつ かずのあてっこができるよ 花火ができるよ 切ってみたら…	算数 ひきざん2 みかんで… 
・あぶり出しをしよう ・いろいろなみかんであそぼう オレンジ、いよかん、はっさく…	学活 パーティーの計画をたてる
・みかんのかわでバスタイム ・みかん色に染めよう ・みかんジュースでかんぱい！ ・レモンの砂糖漬けを食べよう	
4 みかんパーティーの準備をする ・2年生を招待しよう ・どんなコーナーを作ろうかな	③④
5 みかんパーティーをする ・ようこそ2年生！ 楽しんで下さいね	①④ 
あぶり出しコーナー レストランコーナー	みかんのヒミツコーナー
5 みかんのたねをまく ・またみかんで遊びたいな ・みかんのたねをまいてみかんの木を育てよう	①③

学びを広げ深めるために

① 具体的な活動や体験を重視する

本單元における具体的な活動とは、季節の散歩をする、冬を探す、みかんで遊ぶなどである。みかんでの遊びは、あぶり出しやみかん染め、ジュースをつくるなどの活動を計画している。普段何気なく歩いている学校の周りを、冬見つけをすることで見直したり、おなじみのみかんの新しい発見をすることは、これからの冬の生活を楽しもうとする意欲につながるであろう。

→遊びを楽しむ姿

② 子どもの知的な気づきを大切にす

冬見つけやみかん遊びの活動を通して、子ども達は様々な気づきを生み出すであろう。例えば庭木の雪吊り、朝夕吐く息が白いこと、みかんの汁であぶり出しができること、みかんの種類によってあぶり出される汁の色が違うこと…である。これらの気づきを共感をもって受け止め大切にしていきたい。

→気づきを表出しようとする姿

③ 活動の連続性を図り、意識の流れを大切にす

みかんとのお会いの場でみかんの絵本を紹介する。子ども達はその絵本からみかんでの活動をイメージし、やってみたいという意欲や活動の見通しを持つであろう。また、2年生を招待してのパーティを計画することでみかん遊びの活動をふりかえり、新たな活動への意欲を持つと考えられている。

→見通しを持って活動する姿

④ 活動を通して生活上必要な習慣や技能を身に付けさせる



本單元では、みかんを使って遊ぶ活動が主な活動となる。この活動を通して、みかんを洗う、切る、汁をしぼる、皮をむく、煮るといった技能を身に付けさせる。また、2年生を招いてのパーティを通して、会の計画、準備運営といった活動を体験することで、人とかかわる楽しさを味わったり、会を行うときに必要な技能を身に付けさせることができると考えている。

→意欲的に活動する姿

4 本時の学習 (3/15時)

ねらい 数のあてっこゲームをしたりみんなであそびたりして、みかんに興味を持つ。

本時の展開

主 な 活 動 と 内 容	教 師 の 働 き か け
<p>1 みかんクイズをする</p> <p>みかんであそぼう</p>  <p>数のあてっこをしよう 皮をむかずに中の数がわかるんだよ</p> <p>みかんで花火! わあ!すこ〜い</p> <p>おいしいな このみかん</p>	<p>みかんを切ったり、数のあてっこをしたりして、みかんへの興味をふくらませる</p>
<p>2 みかんの絵本の読み聞かせを聞く</p> <p>みかんをお風呂に入れるんだって 私のお家でしたことあるよ</p> 	<p>みかんの絵本の読み聞かせをすることで みかんで遊んでみたいことのイメージをもたせる</p>
<p>3 みかんでしてみたいことを話し合う</p> <p>あぶりだしをしてみたいな</p> <p>みかんのお風呂に入りたいな</p> <p>みかんジュースをのみたいな</p> <p>みかんでお手玉がしたいな</p>	

2の1 生活科学習指導案

第1日2限

2の1

授業者

興井 綾子

1 単元名 おいでよ わくわくランドへ

- 2 目標
- ・自分たちが育てた野菜で、作ったり遊んだりして楽しむことができる。
 - ・収穫の喜びを自分なりの方法で表現することができる。
 - ・野菜で遊んだりお店やさんごっこなどの活動を通して、友達や小さい子などの関わり方に気付く。

3 指導にあたって

本単元の基礎・基本について

本単元は、「おいでよ わくわくランドへ」中の3番目の活動に位置付いている。野菜を素材としてのこの活動では、秋という季節感をより身近なものにとらえ、その喜びや楽しさを自分達なりの方法で自己表現するのに適していると考えられる。

児童は、これまでにお店やさんごっこを体験し、またやってみようという気持ちを持っている。また1年生との交流は1学期から行っており、回を重ねるごとに小さい子の立場になって考え行動できる児童が増えている。学年全体で1つのことを成し遂げた経験や幼稚園との交流は初めてなので、戸惑ったりスムーズにいかない点もあるだろう。

そこで、本単元の基礎・基本を次の様考えた。

- ・友達や異年齢の子と思いやりを持って関われること
- ・自分の願いの実現のために活動を企画し実行できること
- ・秋のもので作ったり遊んだり食べたりすること

この単元では、児童の創造性や企画などを生かして進めたい。クラスや学年全体で協力し、力を合わせないとフェスティバル成功しない。力を合わせたなら、フェスティバルを終えた時は大きな満足感と充実感が生まれるであろう。友達の良さを見付けたり、自分の自信にもつながったり、学年のまとまりも強くなると思われる。この活動で、秋を五感を通して十分に体感し、より自分の生活を豊かにしていくであろう。

単元計画 (総時数 19時間+課外)

主な活動と内容		学びを深めるため												
英「野菜の名前」	1野菜を収穫する	020												
英「八百屋さんごっこ」	〈野菜パーティーをしよう〉													
1年生「秋と歳時」	2野菜で遊んで食べる	020												
英「さつまいも」	<table border="0"> <tr> <td>さつまいも</td> <td>あずき</td> <td>ハーブ</td> </tr> <tr> <td>・なわとび</td> <td>・お芋</td> <td>・クッキー</td> </tr> <tr> <td>・リス</td> <td>・豆粥</td> <td>・ハーブティー</td> </tr> <tr> <td>・ふかし芋</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	さつまいも	あずき	ハーブ	・なわとび	・お芋	・クッキー	・リス	・豆粥	・ハーブティー	・ふかし芋			
さつまいも	あずき	ハーブ												
・なわとび	・お芋	・クッキー												
・リス	・豆粥	・ハーブティー												
・ふかし芋														
英「ランチルーム」	<ul style="list-style-type: none"> ・おいしい ・楽しい ・他のクラスの人にも伝えたい 													
英「学年集会」	3 〈2年生でお店を開こう〉													
英「テーマソング」	3-1 計画を立てる	0												
	・どんな店にしようか													
	3-2 わくわくランドの準備をする	020												
	・うまくいくといいな													
	3-3 クラスの友達に見てもらおう	0												
英「素顔に変身」	・幼稚園の子にもわかるようにやさしく													
	3-4 わくわくランドをする	00												
	・いっぱい来てくれた													
英「学年集会」	3-5 おおききを食べながら反省会をする	00												
	・00はうまくいったよ													
	4野菜作りの振り返りをする	00												
	・秋をいっぱい味わったよ													

学びを広げ深めるために

① 具体的な活動や体験を重視する

お店やさんごっこを取り入れることによって、自分たちの創造力や想いを生かした表現活動や工夫が展開されるであろう。

また、幼稚園の子との交流の場を設定することで、小さい子との関わり方を考える機会になるだろう。
→体験や活動を楽しむ姿

② 子どもの知的な気づきを大切にす

「小さい子には、もっと優しく声をかけてあげようよ」などの発言がみられたら褒めてあげたい。「どうしてそうしたらいいの」と内容を尋ね返したり問い掛けたりして、児童の思いに共感したい。
→気づきを表出する姿

③ 活動の連続性を図り、意識の流れを大切にす

初めから「2年生でお店やさんを開いてフェスティバルをしよう」という意識のもとでスタートさせたい。その時の「こんなフェスティバルにしたい」「そのためにはこんな準備がいるよ」「お手玉がもっと上手になるように練習もいるね」という児童の願いや考えを大切にしていきたい。

→見通しを持って進めようとする姿







④ 活動を通して生活上必要な習慣や技能を身に付けさせる

お店を友達と協力して作ったり、順番を守って遊んだりする態度や、幼稚園の子が泣いている姿を見たら声をかけてあげるなどの関わりを身に付けさせたい。
→人と関わる姿

4 本時の学習 (14 / 19時)

ねらい 友達と関わりながら、リハーサルを楽しむことができる。

本時の展開

主な活動と内容	教師の働きかけ
1 本時のめあてを確認する	
<p>やさいランドのリハーサルをしよう</p>	<p>教師が店番になって演じてみて お客さんが喜ぶような接し方が大切であることに気付かせたい</p>
<p>・幼稚園の子には やさしく わかるように</p>	
2 やさいランドのリハーサルをする	
<p>スイートポテトのお店</p>	<p>あずき餅のお店</p>
	
<p>・甘くて おいしよ</p>	<p>小さい子には時間を長くしてあげたら?</p>
<p>スタンプのお店</p>	<p>八百屋のお店 Tomato</p>
	<p>英語の名前を先に教えたら?</p>
<p>・手は ここで握いてね</p>	<p>2年生とペアで走っては?</p>
	
<p>・わかったら走ってね</p>	
3 リハーサルを振り返り交流会に向けてグループで話し合う	<p>友達と関わることをできるように積極的に寄り添いたい</p>
<p>・サービスをよくしよう ・お客さんが楽しんでくれるといいね ・明日が楽しみだね</p>	<p>接し方で上手になった点などを広めたい</p>